

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 6 月 29 日 (2006.6.29)

【公表番号】特表 2002-516832(P2002-516832A)
 【公表日】平成 14 年 6 月 11 日 (2002.6.11)
 【出願番号】特願 2000-551727(P2000-551727)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

A 6 1 Q 11/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/40 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 7/16

A 6 1 K 7/22

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 1 日 (2006.5.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 グルコン酸クロルヘキシジンを経口環境に送達するための装置であって、前記装置は、

- a) グルコン酸クロルヘキシジンと、
- b) 可溶化グリコールと、
- c) モジュラス改善成分とを含む被覆を備え、

前記被覆は、約 2 質量% 以下の水を含み、かつ前記被覆中のグルコン酸クロルヘキシジン量に基づいて、グルコン酸クロルヘキシジンと反応する有害量の 0.5 モル当量未満の塩、酸、および塩基を有し、45℃ で 4 週間後に 200 ppm 以下の PCA を含む、装置。

【請求項 2】 前記可溶化グリコールは、グリセリン、ソルビトール、ポリエチレングリコール、ポリグリセロール、プロピレングリコール、およびその混合物からなる群から選択される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】 グルコン酸クロルヘキシジンは少なくとも 0.1 質量% で前記被覆に存在し、可溶化グリコールは、可溶化グリコール/グルコン酸クロルヘキシジンの質量比が 0.2 ~ 200 になるような量で前記被覆に存在する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】 前記モジュラス改善成分は、(a) グルコン酸クロルヘキシジンおよびグリコールを分散することができる 1 または複数の親水基と、(b) 1 または複数のアルキル基とを含む界面活性剤である、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】 前記モジュラス改善成分は、ワックス、ポリ-n-ビニルピロリドン、結晶性脂肪アルコール、パラフィン、約 900 を超える分子量を有するポリエチレンオキシド、ヒドロキシプロピルセルロース、およびセルロース誘導体からなる群から選択される、請求項 1 に記載の装置。